

平成 30 年度

事業報告書

令和元年 6 月

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

目 次

1	管理部門	ページ
(1)	法人の概要	3
(2)	理事会・評議員会等	4
2	事業部門	
1	「精神障害者等」の社会参加への支援	
イ	精神科デイケア事業（こころのリカバリー総合支援センター）	
①	精神科デイケアの実施	
a	デイケア事業概況	5
b	平成30年度に在籍した通所者の概要	6
c	年度別通所開始者・終了者数	6
d	年度別通所終了者の理由	7
e	通所希望見学者及び受理面接者数	7
f	デイケア年間行事実施状況	7
g	関係団体の支援及び各種行事への参加状況	7
h	地域生活支援事業	7
②	OB会活動支援	
a	アフターケア（OB会）関連業務	8
③	家族会活動支援	
a	家族会関連業務	8
ロ	障害者就労支援事業	9
ハ	障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業	
(1)	多機能型事業所の運営	
①	就労継続支援B型事業所（こころカ・プロダクション）の運営	
a	メンバー構成	9
b	福祉手帳取得状況	9
c	通所者数	9
d	工賃	10
e	活動内容	10
②	就労移行支援事業所（ここスタ）の運営	13
③	就労定着支援事業の運営	14
(2)	相談支援事業所の運営	
①	ココルの運営	14
2	精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及	
イ	精神保健思想の啓発普及と研修事業	
①	地域精神保健スタッフ等研修事業	
a	デイケア・事業所スタッフのための研修・講座	15
②	実習生、見学の受け入れ事業	
a	施設見学等来所者状況	15
b	実習受入状況・教員会議及び訪問による打ち合わせ	15
③	各種研修会への講師派遣及び企画運営の支援事業	16
④	市民講座の開催	16
⑤	障害者のスポーツ振興への協力	16
⑥	精神障害者に関する調査・研究事業	16
⑦	精神障がい者地域移行研修事業の実施 （北海道精神障がい者地域生活支援事業（地域移行研修事業））	
a	地域移行研修会	17
b	エリア別研修会	19
c	ピアサポーター研修	20
ロ	高次脳機能障害者支援事業等	
①	相談窓口及びリハビリ提供・地域生活支援事業【在宅生活支援事業】	20
ハ	ひきこもり対策推進事業	
①	北海道ひきこもり成年相談センターの運営	
②	札幌市ひきこもり地域支援センターの運営	
a	相談支援実施状況	24
b	支援ネットワークの構築等	31
c	普及啓発	38

3	会計部門	
	貸借対照表	4 0
	正味財産増減計算書	4 2
	正味財産増減計算書内訳表	4 5
	財産目録	4 7
	財務諸表に対する注記	4 9
	収支計算書	5 2
	収支計算書に対する注記	5 4

4	監査報告	
	監査報告書	5 5

資料編

1	理事・監事・顧問・参与・評議員名簿	5 6
2	財団法人設立の経過等	5 6
3	施設の概要	5 7
4	基本財産	5 7

1 管 理 部 門

(1) 法人の概要

【事業内容】

公益財団法人北海道精神保健推進協会は、精神保健思想の啓発普及と精神障害者等(メンタルヘルスケアの諸問題を抱える人を含む。)の社会参加を促進し、精神障害者等の福祉の向上に寄与することを目的として運営しており、定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- ・精神保健思想の啓発普及
- ・精神障害者等の社会復帰のための医療施設(デイケア及び診療所)の設置及び運営
- ・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- ・障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業・特定相談支援事業
- ・障害者地域生活支援センター等の相談支援事業に対する指導援助
- ・精神障害者等の就労・雇用に向けた支援
- ・地域精神保健・医療・福祉充実のための支援
- ・精神保健医療福祉に関する調査研究
- ・その他本会の目的を達成するために必要な事業

○法人の主な事業

精神障害者の社会復帰や社会参加の促進を図ることを目的に、精神科デイケア施設(独立型)である「こころのリカバリー総合支援センター」を運営するとともに、多機能型事業所として、就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」、就労移行支援事業所「ここスタ」、就労定着支援事業所を運営している。また、相談支援事業所「ココクル」を設置している。

「リカバリーセンター」では医学的管理のもとに、通所者への個別的相談や指導、社会的自立のための基礎的訓練、生活指導、作業訓練、レクリエーション、体力づくりなどを週間プログラムに沿って実施している。

また、北海道から委託事業として、高次脳機能障害者の受け入れ(平成16年度～)や精神障害者の入院から地域生活への移行支援事業の実施(平成19年度～)、「北海道ひきこもり成年相談センター」の運営(平成21年度～)を行うほか、札幌市からの委託事業として、「札幌市ひきこもり地域支援センター」(平成27年度～)の運営を行っている。

【役員】 理事10名・監事2名・顧問1名・参与1名・評議員11名

※氏名等資料編(56P)に掲載

【法人職員】(合計24名:常勤職員 14名、非常勤職員 10名)※H31.3.31現在

○「こころのリカバリー総合支援センター」

- ・常勤職員 10名 { 所長(医師・理事長)、事務職員2名、精神保健福祉士5名、
作業療法士1名、保健師1名、(精神保健福祉士・兼務1名) }
- ・非常勤職員 2名 { 医師1名、事務職員1名 }

○就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」

- ・常勤職員 2名 { 管理者(精神保健福祉士)、職業指導員(精神保健福祉士)1名、
(生活支援員(精神保健福祉士・兼務)1名) }
- ・非常勤職員 7名 { 生活支援員(作業療法士)1名、
目標工賃達成指導員 1名、調理員 5名 }

○就労移行支援事業所「ここスタ」

- ・常勤職員 1名 { 就労支援員(作業療法士)1名
(管理者(精神保健福祉士・兼務))、(生活支援員(精神保健福祉士・兼務)) }
- ・非常勤職員 1名 { 職業指導員(精神保健福祉士)1名 }

○相談支援事業所「ココクル」

- ・常勤職員 1名 { 管理者(精神保健福祉士)、(相談員(精神保健福祉士・兼務)) }

(2) 理事会・評議員会等

区 分	年月日、会場等	議事等の内容
当法人監事による平成29年度 決算等監査	平成30年5月22日 於：こころのリカバリー総合 支援センター	平成29年度 事業の実施状況、 予算執行状況、財産目録等関係 帳票の監査 (出席) 監事2名
平成30年度第1回理事会	平成30年6月6日 於：北海道立道民活動センター	平成29年度 事業報告、決算報 告及び平成29年度補正予算等 (出席) 理事8名、監事2名 顧問1名、参与1名
平成30年度第1回評議員会	平成30年6月26日 於：北海道立道民活動センター	平成29年度 事業報告、決算報 告及び平成29年度補正予算等 (出席) 評議員8名
平成30年度 理事会 (決議の省略)	平成30年6月26日 書面表決	理事長、副理事長等の選定
平成30年度 理事会 (決議の省略)	平成30年10月26日 書面表決	平成30年度事業計画の追加、 第1次補正予算等
平成30年度 評議員会 (決議の省略)	平成30年11月5日 書面表決	平成30年度事業計画の追加、 第1次補正予算等
平成30年度第2回理事会	平成31年3月18日 於：北海道立道民活動センター	平成31年度事業計画、収支予 算等 (出席) 理事8名、監事2名 顧問1名
平成30年度第2回評議員会	平成31年3月27日 於：北海道立道民活動センター	平成31年度事業計画、収支予 算等 (出席) 評議員10名

2 事業部門

1 「精神障害者等」の社会参加への支援

イ 精神科デイケア事業（こころのリカバリー総合支援センター）

① 精神科デイケアの実施

a デイケア事業概況

	H30									H31				
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計	
月間在籍者数 下段：高次脳再掲	141	137	138	141	141	144	147	149	146	145	145	145		
	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13		
延べ出席者数 (デイケア、ショートケア、デイナイトケア、ナイトケア) 下段：高次脳再掲	769	803	817	827	738	593	801	733	702	606	690	729	8,806	
	69	79	75	77	86	64	79	82	65	65	68	74	882	
通所開始	5	2	2	5	2	4	3	2	0	0	0	0	25	
通所終了	6	1	2	2	1	0	0	3	1	0	0	3	19	
一日平均出席数	38.4	40.1	37.1	39.4	33.5	29.7	36.4	36.6	35.1	31.9	36.3	34.7	35.8	

※曜日別内訳														
【月火木金】	H30							H31						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開設日数	16	16	18	17	17	16	18	15	16	15	15	18	197	
延べ出席者数 (デイケア、ショートケア、デйнаイトケア、ナイトケア) 下段：高次脳再掲	647.5	665.5	710.5	707.5	613.0	482.0	660.5	621.0	589.0	515.5	570.5	621.0	7,404	
	57.0	67.0	62.5	65.0	71.0	52.0	63.0	70.0	53.0	53.0	56.5	62.0	732	
定員出席率【月火木金】	64.7%	66.6%	61.6%	65.1%	55.6%	44.9%	57.5%	64.6%	58.1%	52.8%	58.8%	53.7%	58.7%	
一日平均出席数	40.5	41.6	39.5	41.6	36.1	30.1	36.7	41.4	36.8	34.4	38.0	34.5	37.6	
月末登録者数	141	137	138	141	141	144	147	149	146	145	145	145		
	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13		
【水】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	51	
延べ出席者人数 (デイケア、ショートケア) 下段：高次脳再掲	121	137	106	120	125	111	141	112	113	91	119	108	1,402	
	12	12	12	12	15	12	16	12	12	12	11	12	150	
一日平均出席数	30.3	27.4	26.5	29.9	25.0	27.8	28.1	27.9	28.3	22.6	29.8	27.0	27.5	

b 平成30年度に在籍した通所者の概要

表.1-1 通所者の件数

	男	女	計
前年度から継続	99	37	136
当年度に通所開始	11	14	25
計	110	51	161

表.2-1 通所者の年齢

年齢区分	男	女	計
10～19歳	2	2	4
20～29歳	22	16	38
30～39歳	33	16	49
40～49歳	34	9	43
50歳以上	19	8	27
計	110	51	161
平均年齢	38.7	35.3	37.6

表.3-1 疾患別状況

	人数	構成
F2 統合失調症	58	36.0%
F3 気分（感情）障害	35	21.7%
F4 神経症性障害	20	12.4%
F6 人格障害	1	0.6%
F7 精神遅滞	2	1.2%
F8 発達障害	24	14.9%
F9 行動および情緒の障害	5	3.1%
G4 てんかん性障害	2	1.2%
高次脳機能障害（※）	14	8.7%
計	161	100%

※疾患別状況（高次脳機能障害内訳）

	人数	構成
F04 器質性健忘症候群	9	64.3%
F06 脳損傷、脳機能不全および 身体疾患による他の精神障害	2	14.3%
F07 器質性パーソナリティ行動障害	3	21.4%
計	14	100%

表.4-1 通所年数

通所年数区分	通所者	終了者	計
1年未満	23	5	28
1年以上～3年未満	39	4	43
3年以上～5年未満	24	3	27
5年以上～10年未満	38	3	41
10年以上	18	4	22
計	142	19	161
平均通所年数	5年1ヶ月	5年11ヶ月	5年2ヶ月

表.5-1 出席状況

通所日数区分	在籍者	終了者	計
50日以下	81	19	100
51日以上～100日以下	26	0	26
101日以上～150日以下	18	0	18
150日以上～200日以下	11	0	11
201日以上	6	0	6
計	142	19	161
平均通所日数	66.4	9.8	62.4

表.6-1 終了時転帰

転帰区分	男	女	計
就労・就学	1	1	2
事業所	0	0	0
在宅	6	2	8
入院	3	4	7
死亡	0	1	1
その他	0	1	1
計	10	9	19

c 年度別通所開始者・終了者

（高次脳機能障害 再掲）（単位：人）

年 度	通所開始者	通所終了者
昭和63年度～平成29年度 高次脳機能障害	841 (44)	702 (31)
平成30年度 高次脳機能障害	25 0	19 (1)
計	866 (44)	721 (32)

d 年度別通所終了者の理由

(単位：人)

	年 度	就労・就学	事業所	在宅	中断	入院	死亡	その他	計
総数	昭和63年度～平成29年度 (高次脳機能障害 再掲)	124 (4)	165 (14)	130 (5)	40	207 (6)	6 (1)	30 (1)	702 (31)
	平成30年度 (高次脳機能障害 再掲)	2		8 (1)		7	1	1	19 (1)
	総計	126 (4)	165 (14)	138 (6)	40	214 (6)	7 (1)	31 (1)	721 (32)

e 通所希望見学者及び受理面接者数

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
見学者数	精神科デイケア	0	5	3	3	3	4	3	2	1	2	0	0	26
	高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受理面接者数	精神科デイケア	0	1	3	0	4	1	1	1	0	1	1	2	15
	高次脳機能障害	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

f デイケア年間行事実施状況

月	日	行事名	人数 (メンバー)
7	20、21	センター宿泊	76
10	3	センター祭	32
12	28	年納め会	31
12	29	忘年会	26
1	4	新年会	31

g 関係団体の支援及び各種行事への参加状況

月	日	
4	27	NPO法人オーク会理事会・総会出席
6	8	かがやき園メンタルヘルス講習会
6	30	第9回北海道チャンピオンズカップ2018 (フットサル) 参加
7	3	札幌家連ソフトボール大会監督会議出席
7	24	札幌家連ソフトボール大会参加
8	3	第23回全道精神障害者スポーツ大会 (札幌家連主催) 参加
12	6	虐待防止研修会講師派遣
12	26	NPO法人すみれ会忘年会出席
1	11	こころのピアサポートフォーラム2018in北海道打合せ
3	6	札幌家連体育大会参加

h 地域生活支援事業

・地域生活支援業務

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家族訪問及び同行支援	0	6	2	5	1	0	3	5	2	0	3	5	32
関係機関とのケース会議	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
関係機関連携 (電話・来所等)	4	6	5	3	1	2	3	1	3	2	1	1	32

・個別相談関連業務件数

() は高次脳再掲 (単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
メンバー	114 (3)	105 (3)	104 (2)	107 (1)	77 (5)	77 (4)	77 (2)	78 (1)	77 (6)	56 (1)	54 (6)	92 (1)	1018 (35)
OB	2 (3)	4 (0)	6 (0)	11 (0)	7 (0)	3 (1)	5 (3)	10 (0)	6 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (0)	58 (8)
家族	13 (1)	13 (0)	8 (2)	12 (2)	15 (0)	10 (1)	7 (1)	8 (0)	9 (0)	14 (1)	5 (0)	5 (2)	119 (10)
一般	0 (1)	5 (0)	1 (0)	0 (1)	5 (1)	1 (0)	4 (1)	3 (0)	1 (0)	0 (3)	0 (0)	2 (0)	22 (7)

② O B 会活動支援

a アフターケア（O B 会）関連業務

月	日	曜日	内 容	場 所	参加 人数
8	21	火	幹事会（交流会の企画）	こころのリハビリ総合支援センター	3
10	27	土	元気でやっとなる会（交流会）	今宵は御馳屋（札幌市中央区）	8
1	23	水	幹事会（交流会の企画） 機関誌（こまん・たれ・ぶー）編集・発送	こころのリハビリ総合支援センター	3
4	14	土	元気でやっとなる会（交流会）	ポレール&糧とく（札幌市中央区）	8

③ 家族会活動支援

a 家族会関連業務

（単位：人）

月	日	曜日	内 容	出席 人数
4	4	水	発送	6名
4	18	水	総会 役員会	20名
5	2	水	発送	5名
5	16	水	阿部所長講話 話し合い	18名
6	6	水	発送	3名
6	20	水	通所者メンバーとの交流会（野外バーベキュー）	11名
7	4	水	発送	3名
7	18	水	白い恋人パーク散策	15名
8	1	水	発送	3名
8	8	水	ビデオ鑑賞 話し合い	15名
9	4	火	発送	3名
9	19	水	スタッフを囲んで話し合い センター祭打ち合わせ	16名
10	3	水	発送	3名
10	13	土	センター祭	18名
11	7	水	発送	3名
11	21	水	話し合い ディスカン、室内ゲーム	9名
12	5	水	発送	3名
12	19	水	脳トレゲーム 話し合い	13名
1	7	月	発送	6名
1	16	水	新年会	18名
2	6	水	発送	3名
2	20	水	DVD鑑賞 話し合い	118名
3	6	水	発送	5名
3	20	水	1年の振り返り、来年度の活動について話し合い	12名

ロ 障害者就労支援事業

ハ 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業

(1) 多機能型事業所（就労移行支援事業・就労継続支援B型事業）の運営

① 就労継続支援B型事業所（こころカ・プロダクション）の運営

今年度は、メンバーの工賃アップを大きな目標にし、動画撮影の仕事により力を入れてきた。講義の仕事、他団体との協働による仕事も継続しているのも今年度の特徴と言える。

また、工賃を安定させるために、委託業務だけに頼るのではなく、自社コンテンツの制作にも取り組んだ。代表的なものとして、医療福祉の著名人へのインタビュー映像と元実習生へのインタビュー映像を製品化した。次年度は、この製品を積極的に売り込むためのホームページ整備、宣伝の工夫が課題となる。

一般就労を目指すメンバーも増え、移行支援事業所へ移行し、就職したメンバーもいる。一方で、新たなメンバーの受け入れが、次年度の課題として残る。

a メンバー構成 （平成31年3月31日現在）定員14名

①性別： 登録者16名 （男性14名、女性2名）

②年齢： 平均年齢41.7歳 （最低23歳、最高51歳）

③障害状況：

疾患名	人数
身体障害	1
知的障害	2
精神障害	15
計	18

※（2名重複）

b 福祉手帳取得状況

手帳等級	人数
身体障害者福祉手帳1級	1
療育手帳B	1
療育手帳Bー	2
精神保健福祉手帳2級	11
精神保健福祉手帳3級	1
なし	1
計	17

※（1名重複取得）

c 通所者数

①通所状況

平成 30 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
登録人数	17	17	17	19	17	17	17	17	17	17	17	17	17.2
平均通所者数	14.7	15.5	14.9	15.6	14.5	14.4	14.8	13.5	13.8	14.2	14.1	13.5	14.5
通所率	86.2%	91.1%	87.7%	82.2%	85.5%	84.6%	87.1%	79.3%	81.1%	83.6%	83.1%	79.1%	84.2%

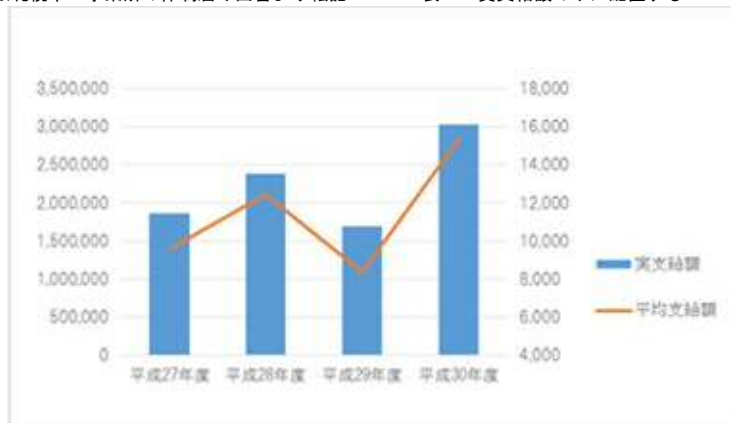
②終了者の転帰

転帰	人数
就労移行支援事業所（ココスタ）	2 名
精神科デイケア	1 名

d 工賃

※札幌市 事業所の体制届け出書より転記

表：工賃支給額の下に配置する



平成 30 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計・平均
工賃支給額	149,800	199,300	165,800	153,500	140,200	131,400	175,500	175,700	164,000	186,710	166,090	1,185,985	2,993,985
平均支給額 (月給)	8,811.8	11,723.5	9,752.9	9,029.4	8,247.1	7,729.4	10,968.8	10,981.3	10,250.0	12,447.3	11,072.7	79,065.7	15,353.8

e 活動内容

○行政との協働（委託事業など）の実績

市町村名
北海道
札幌市
札幌市白石区
北広島市
奈井江町

○他の NP0・市民活動団体との協働の実績

団体名	摘要
柏町内会	行事参加等
白石東地区及び札幌市社会福祉協議会	災害対策研修会講師
白石かがやき園	イベントへの出店参加
北海道社会福祉協議会	映像製作・頒布 DVD 製作
北海道地域ケアマネジメントネットワーク(北海道 CM ネット)	体験談報告
NP0 法人札幌市精神障害者家族連合会(札家連)	事業所説明会出展
チームみずいろ(大阪府和泉市)	
FM リベール(旭川市コミュニティ FM 放送局)	番組出演
JPOPボイス ライフサイエンス出版株式会社	インタビュー・記事掲載
北海道精神障害者回復者クラブ連合会(道回連)	研修会協力
こころのピアサポートフォーラム 2019 in 北海道 主催：一般社団法人 北海道ピアサポート協会	分科会実施
北海道精神保健協会	機関誌発送業務
家族会リラの会	自主制作作品上映
ピアサポーター研修(こころのリカバリー総合支援センター)	分科会実施

○講義実績

団体名
札幌医科大学(OT)
札幌学院大学(PSW)
星槎道都大学(PSW)
日本医療大学(NS)
北海道医療大学(Ns, OT, PSW)
北星学園大学(PSW)
北翔大学(PSW)
札幌保健医療大学(Ns)
北海道福祉大学校(PSW)
千歳リハビリテーション学院(OT)
北海道リハビリテーション大学校(OT)
公益社団法人 北海道家庭生活総合カウンセリングセンター
美唄すずらんクリニック
北海道 キャリアパス研修事業
北海道社会福祉協議会 日常生活自立支援事業(道内 14 カ所)
恵庭市社会福祉協議会 講義
北広島市社会福祉協議会 後見人研修

○撮影・映像制作

団体名	内容
北海道社会福祉協議会 「地域人材を活用した労働環境改善促進事業」	撮影・映像製作
高次脳リハビリテーション講習会	撮影・映像制作
北星学園大学 前田ケイ先生研修会	撮影・映像制作
北星学園大学 リジリエンスウンガー博士講義収録 リジリエンス国際セミナー収録	撮影・映像制作
浦河ひがし町診療所（田植え・稲刈り）	撮影・映像制作
札幌弁護士会	映像中継業務
浦河べてるの家職員結婚式	撮影・映像制作
札幌市ひきこもり地域支援センター・ 北海道ひきこもり成年相談センター	撮影・映像制作
さっぽろ香雪病院 PSW 元木氏インタビュー収録	撮影・映像制作
旭川圭泉会病院 PSW 阿部氏インタビュー収録	撮影
川村敏明氏インタビュー収録（浦河町）	撮影・映像制作
櫛部武俊氏インタビュー収録（釧路市）	撮影・映像制作
門屋充郎氏インタビュー収録（帯広市）	撮影・映像制作
小栗静雄氏インタビュー収録（帯広市）	撮影・映像制作
中村喜人氏インタビュー収録（稚内市）	撮影
門屋充郎氏インタビュー収録（帯広市）	撮影
前田ケイ氏インタビュー収録（札幌市）	撮影
市内保育園・幼稚園収録（30ヶ所）	収録・販売用 DVD 制作

○実践報告・調査研究

2018 年 日本精神障害者リハビリテーション学会 第 26 回東京大会
2019 年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会全道大会

○主な自主制作作品

作品名	摘要
当事者がきく 北海道にゆかりのあるパイオニアの声 Vol.2 川村敏明先生	DVD 販売
当事者がきく 北海道にゆかりのあるパイオニアの声 Vol.1 鈴木明子先生	DVD 販売
実習生から精神保健福祉士へ～3年後の今 Vol.1～	DVD 販売

○ラジオ放送

放送局／周波数	タイトル／放送日時	放送回数	摘要
エフエム しろいし 83.0MHz	「つながるここプロラジオ」 生放送／毎週（火） 15:00～16:00 再放送／毎週（土） 16:00～17:00	50 回	H29 年 4 月 5 日 より放送開始
	「それゆけスマイルランチ」 生放送／毎週（水） 11:30～12:30	50 回	H29 年 9 月 6 日 より放送開始

※FM しろいしの放送は、3 月末日で終了。2019 年 5 月からは FM アップルに変更

○見学者来所状況

	総人数	通所 希望者	関係機関	教育機関	実習生	ボラン ティア	デイケア メンバー	その他
4 月	5	1	1	1			1	1
5 月	12		10	2				
6 月	21		2	3	3			13
7 月	13		3	4	6			
8 月	11		5		5			1
9 月	6	1	1	3				1
10 月	7		2	5				
11 月	13		6	1	6			
12 月	5		2		2			1
1 月	4		2		2			1
2 月	3		1	1	1			
3 月	5	1	1	2	1			
計	105	3	36	22	26	0	1	17

② 就労移行支援事業所（ココスタ）の運営

平成 28 年度 6 月に開設して以降の全利用者総数は 10 名となった。

平成30年度においての内訳としては以下の通りであり、数名が就労につながった。今後は、定着支援を継続するとともに、新規のメンバーの利用を獲得していく必要がある。

なお、今後就職後 6 か月を経て「就労定着支援事業所」の対象となる利用者がいるため継続した支援を行いながら利用等の手続き等行っていく。

○利用者内訳（定員 6 名）

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規利用	0	1	0	1	3	0	2	0	0	0	0	0	7
終了者	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	4
延登録者	0	1	1	2	5	4	6	6	5	5	0	3	

新規利用者

単位：人

内容	人数
デイケアからの移行	3
B 型事業所からの移行	2
その他	2

終了者の転帰

単位：人

内容	人数	備考
一般企業への就職	4	継続就業中
就労継続等への移行	0	
中断	0	

30年度利用者の障害種別内訳

障害種別	人数	手帳2級所持	3級
精神	7	5	2
身体	0		
知的	0		
難病	0		

③就労定着支援事業の運営

今年度の就労定着支援事業の利用はなかった。次年度以降、移行支援事業などを使って就労し、6か月以上定着したメンバーの支援が必要となることを見込まれる。所定の手続きを行い支援につなげていく。

(2) 相談支援事業所の運営**① ココクルの運営**

当法人では「精神障害者等の社会参加の促進」を目的としており、デイケア通所者や家族等からの相談に応じているところであるが、障害者総合支援法に基づき、就労支援事業やグループホーム等の障害福祉サービスの利用促進を図るため、平成28年6月から相談支援専門員による一般及び特定相談支援体制を整備し、専門性が高く、よりきめ細かい支援を行う相談支援事業所を運営している。

平成30年度の実績としては下記のとおりとなっている。

○相談実績（件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新 規	0	3	0	1	1	2	0	0	0	1	1	0	9
電話・メール 相談	2	0	2	1	1	0	0	5	0	1	1	4	17
面接相談	11	19	10	10	19	12	13	13	12	13	7	10	149
訪問・同行 支援	8	12	9	11	5	2	3	9	8	8	4	6	85
関係機関と の連絡	13	14	15	7	6	3	4	5	4	7	2	8	88

2 精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及

イ 精神保健思想の啓発普及と研修事業

① 地域精神保健スタッフ等研修事業

a デイケア・事業所スタッフのための研修・講座

月	日	曜日	内 容	会場	参加者
8	25	土	家族療法の学び方	白石区民センター	22名

② 実習生、見学の受け入れ事業

a 施設見学等来所者状況

月	日	曜日	内 容	人数
4	27	金	岡本病院精神科医	1
6	14	木	宮城県精神保健福祉センター医師	1
7	25	水	さっぽろコンシェルジュ事業事業実施機関職員	8
7	26	木	藻岩高校教員	1
9	5	水	札幌市西区ボランティア連絡会（札幌市社協）	10
9	28	金	浦河町ひがし町診療所メンバー・スタッフ	8
10	11	木	摂食障害家族会・道立精神保健福祉センター職員	10
11	16	金	キャリアバンク職員	1
12	5	水	英会話クラブ講師予定者	1
1	23	水	茶道クラブ講師予定者	1
2	14	木	手稲家庭医療クリニック医師	1
3	30	土	市民公開講座参加者の施設見学	39

b 実習生受入状況・教員会議及び訪問による打ち合わせ

福祉系学科（名寄市立大学・道都大学）	2
作業療法学科（北海道大学・札幌医科大学、北海道リハビリテーション大学校）	3
看護学科（北海道医療大学）	8
医学部（北海道大学）	6
計	19
実習事前訪問対応	6回
実習指導者会議等出席	2回

③ 各種研修会への講師派遣及び企画運営の支援事業

社会福祉団体など関係機関の要請に基づき研修会への講師派遣や企画運営等への協力・技術支援を行っている。

④ 市民講座の開催

月	日	曜日	内 容	参加者
3	30	土	精神科デイケアにおけるリハビリテーション ～当センターの取り組み紹介～	39名

⑤ 障害者のスポーツ振興への協力

精神障害者のスポーツ振興の意味も含め、精神障害者団体への体育館貸出などへの協力を検討中である。

⑥ 精神障害者に関する調査・研究事業

事業名：ピアサポーターと協働した精神科「社会的入院」患者に対してのモチベーション・サポート実践～他施設合同事業（通称：院内茶話会）

目的	精神科での長期入院患者（いわゆる社会的入院）に対して、病棟内でのグループセッション（茶話会）を定期的実施することで、患者及び関係スタッフの退院（地域移行）へのモチベーションを高めるより良い方法論を探る。また、3クリニックが協働し、多施設合同研究として行うことにより、研究の拡大を図る。（※3クリニック～こころのリカバリー総合支援センター、札幌なかまの杜クリニック、ほっとステーション）
事業内容	3クリニックのそれぞれのピアサポーターと支援スタッフ（3クリニック所属の専門職）で構成する2チームがそれぞれに協力病院にグループ訪問を行う。協力病院にはいわゆる社会的入院患者を「茶話会」に誘ってもらい、グループとして関係性を構築していくことで、彼らの地域生活への意欲を高めると同時に、協力病院等の専門職（病棟看護師など）が精神障害者の持つ可能性を自ずと発見できる環境を形づくっていく。事業実施後、病院訪問中で、患者だけでなく、関わったピアやスタッフの内面にどのような変化があったかを、アンケートで測定しまとめる。（実施期間平成29年12月～令和元年8月）
実施内容	〔桑園チーム〕 ・茶話会（5月・7月・9月・11月・1月・3月 計6回） ・打合せ（4月・6月・8月・10月・12月・2月 計6回） 〔五陵会チーム〕 ・茶話会（5月・7月・9月・11月・1月・3月 計6回） ・打合せ（4月・6月・8月・10月・12月・2月 計6回）

⑦精神障がい者地域移行研修事業の実施

(北海道精神障がい者地域生活支援事業(地域移行研修事業))

a 地域移行研修会

日 時	参加者数 (当事者再掲)	会 場 (圏域)	内 容
H30. 6. 27(水)	29名 (4)	八雲総合病院 (北渡島檜山)	○講義「地域包括ケアと精神障害者」 講師；こころのリカバリー総合支援センター所長 ○報告「八雲総合病院における精神科の実状について」 報告者；八雲総合病院 精神保健福祉士 ○報告「保健所から見た北渡島檜山圏域の精神保健の状況 ～退院を見据えた病院ぐるみのケア～」 報告者；北海道八雲保健所 健康推進課 保健師
H30. 7. 13(金)	61名 (7)	はーとぴあ 21 紋別市総合福祉 センター (遠紋)	○講義「精神障害者の理解について(生活支援に関わる人向け)」 講師；地域生活支援センターサポートネット北見 センター長・ピアサポーター ○グループワーク「あるあるテーマ de トークしよう」
H30. 10. 26(水)	31名 (2)	稚内保健所 (宗谷)	○報告「宗谷圏域の精神保健福祉をとりまく状況」 北海道稚内保健所 健康推進係 主任保健師 市立稚内病院 医療相談室 医療ソーシャルワーカー 宗谷圏域精神障害者地域生活支援センター長 ○講義「精神障害者の特性と総論的な理解」 こころのリカバリー総合支援センター所長 ○体験発表「障害当事者の経験から学ぶ」 宗谷圏域精神障害者地域生活支援センター ピアサポーター ○演習「具体的な対応について学ぶ」
H30. 10. 29(月)	44名 (1)	札幌市役所 (札幌市)	○報告「札幌市精神保健福祉をとりまく状況」 講師；札幌市保健福祉局障がい保健福祉部主査 旭山病院 医療相談室 精神保健福祉士 ○講義「精神障害者の特性と総論的理解」 講師；こころのリカバリー総合支援センター 所長 ○報告「地域移行・地域定着支援の実際」 講師；相談室みなみ 相談支援専門員 ○講義「障がい当事者の経験から学ぶ」 講師；地域生活支援センターぼぼろ利用者
H30. 11. 21(水)	32名 (6)	砂川市地域交流 センターゆう (中空知)	○報告「空知圏域の精神保健福祉をとりまく状況」 報告者；北海道滝川保健所 主任保健師 赤平市役所社会福祉課地域福祉 係長 ○講義「精神障がい者の特性と総論的な理解」 講師；こころのリカバリー総合支援センター所長 ○実践報告「地域移行・地域定着支援の実際」 地域生活支援センターぼぼろ センター長 ○体験発表「当事者の経験から学ぶ」 地域生活支援センターぼぼろ ピアサポーター ○演習「具体的な対応について学ぶ」
H30. 11. 22(木)	47名 (1)	市立名寄病院 (上川北部)	○講義 「精神医療福祉の歴史、経過地域移行支援について」 こころのリカバリー相互支援センター職員 ○道北地域生活支援センター「ピアサポート活動」 道北地域生活支援センター ピアサポーター ○「リカバリー志向の支援について」 多機能型事業所 PEER+design 稲垣麻里子氏
H30. 12. 7(金)	46名 (4)	(南渡島・南檜 山)	映画上映「夜明け前－呉秀三と無名の精神障害者の100年」 解説と講義「精神障害者の特性と総論的な理解」 こころのリカバリー総合支援センター 所長

日 時	参加者数 (当事者再掲)	会 場 (圏域)	内 容
H30. 12. 18(火)	59名 (3)	江別市勤労者研修センター (札幌)	○講義「歴史から考える精神障害者の地域移行」 講師；こころのリカバリー総合支援センター ○報告「札幌圏域における地域移行支援の実際」 報告者；千歳地域生活支援センターセンター長・ピアサポーター ○報告「退院支援の実際から」 (1)医療機関での実際 熊谷病院精神保健福祉士 (2)地域での実際 江別市障がい支援センター相談支援専門員 ○グループでの話し合い
H31. 1. 11(金)	88名 (7)	旭川市障害者福祉センターおび った(上川中部・ 富良野・北空知・ 留萌)	○基調講演「障がいのある方が安心・安全に生活するために～地域包括ケアシステムを踏まえて～」 講師；社会福祉法人蒼溪会理事長 有野哲章氏 ○分科会1「退院支援に向けた事例検討演習」 講師；有野哲章氏 事例提供者；旭川圭泉会病院 精神保健福祉士 ○分科会2「長野県北信圏域における地域生活支援拠点整備について」 講師；社会福祉法人高水福祉会統括部長 野口 直樹氏 ○パネルディスカッション パネリスト；有野氏・野口氏 旭川市福祉保険部障害福祉課主幹 コーディネーター；旭川地域生活支援センター長
H31. 2. 23(土)	63名 (9)	小樽市消防庁舎 (後志)	○話題提供「研修趣旨に基づく話題提供」 行政の立場から 北海道俱知安保健所 主任保健師 ピアサポーターの立場から 地域生活支援センターピアサポーター - 医療の立場から 俱知安厚生病院 精神科医 ○講義1「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について」 講師；特定非営利活動法人ヒーライねっと 吉澤浩一 氏 ○講義2「自立生活援助について」 講師；横浜市総合医療センター係長 望月明広 氏 ○講義3「自立生活援助の展開例」 講師；吉澤浩一 氏 望月明広氏 ○演習「自立生活援助を地域で展開させよう」 ファシリテーター；講師；吉澤浩一 氏 望月明広氏
H31. 2. 28(木)	69名 (4)	北見市芸術文化 ホール (北網)	○講義「精神障がい者の理解と支援」 講師；北見赤十字病院 神経精神科医 伊藤哲寛氏 ○実践報告「病院と地域の相談支援の連携について」 ～公開インタビューと意見交換～ 報告者；管内精神科4病院 精神保健福祉士 進行；サポートネット北見 センター長
H31. 3. 7(木)	58名 (5)	釧路市交流プラ ザさいわい (釧路・根室)	○講義「精神障がい者の歴史及び基本的な障害理解」 講師；こころのリカバリー総合支援センター所長 ○報告「圏域の精神保健福祉をとりまく状況」 報告者；北海道釧路保健所 主任保健師 北海道根室保健所 主任保健師 釧路根室圏域精神障害者地域生活支援センター・サハスネット ○座談会「精神障害について当事者の経験から学ぶ」 発表者；サハスネット ピアサポーター ○グループに分かれての話し合い

日 時	参加者数 (当事者再掲)	会 場 (圏域)	内 容
H31. 3. 8(金)	36名 (2)	音更 (十勝)	○講義「精神障がい者の歴史及び基本的な障害理解」 講師；こころのリカバリー総合支援センター所長 ○報告「圏域の精神保健福祉をとりまく状況」 報告者；北海道帯広保健所健康推進課 健康支援第二係長 ○体験発表「精神障害について当事者の経験から学ぶ ～回復の道のり～」 発表者；帯広生活支援センター ピアサポーター ○演習「地域移行支援の実際～具体的な事例で学ぶ～」 事例提供；帯広生活支援センター
H31. 3.15(金)	63名 (4)	室蘭保健所 (西胆振)	○報告「圏域の精神保健福祉をとりまく状況」 報告者；北海道室蘭保健所健康推進課長 室蘭市役所保健福祉部障害福祉課主査 室蘭市相談支援センターらんセンター長 ○講義「精神障害者の特性と総論的な理解」 講師；こころのリカバリー総合支援センター所長 ○報告「地域移行支援の実際」 ①医療機関の立場から 三愛病院医療福祉相談室長 ②相談支援事業所・当事者の立場から 室蘭市相談支援センターらん ○グループに分かれての話し合い
計	726名 (59)	14ヶ所	

b エリア別研修会

日 時	参加者 (当事者再掲)	会 場	内 容
H30. 8. 2(木) ～3(金)	56名 (12)	旭川市大雪クリ スタルホール (旭川市)	○講義と実践報告・演習 講義Ⅰ「精神保健福祉医療の動向」 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課主事 演習①「圏域ごとで3年間の取り組みの振り返り」 報告「障害者の地域生活を支える下地づくり～各圏域の実 践・これからの提言」 演習②「報告や提言を聞いて～圏域を混ぜて」 演習③「職種別ディスカッション」 演習④「圏域に戻って話し合い～ロードマップの作成」
H30. 8.30(木) ～ 31(金)	55名 (10)	北農健保会館 (札幌市)	○講義と実践報告・演習 講義Ⅰ「精神保健福祉医療の動向」 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課主事 演習①「圏域ごとで3年間の取り組みの振り返り」 報告「障害者の地域生活を支える下地づくり～各圏域の実 践・これからの提言」 演習②「報告や提言を聞いて～圏域を混ぜて」 演習③「職種別ディスカッション」 演習④「圏域に戻って話し合い～ロードマップの作成」
H30. 11. 29(木) ～ 30(金)	44名 (7)	室蘭市中小企業 センター (室蘭市)	○講義と実践報告・演習 講義Ⅰ「精神保健福祉医療の動向」 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課主事 演習①「圏域ごとで3年間の取り組みの振り返り」 報告「障害者の地域生活を支える下地づくり～各圏域の実 践・これからの提言」 演習②「報告や提言を聞いて～圏域を混ぜて」 演習③「職種別ディスカッション」 演習④「圏域に戻って話し合い～ロードマップの作成」
計	155名 (29)	3ヶ所	

c ピアサポーター研修

年月日	参加者 (当事者再掲)	開催場所	内 容
H30. 9. 26 (水) ～ 9. 28 (金)	82名 (69)	かでの 2.7	1日目 【開会式・オリエンテーション】 【GW1】「日頃のピアサポーター活動について報告し合おう」 【ピアサポーターの専門性は何だと思いますか？Part 1】 【交流会】 2日目 【分科会Ⅰ】 ①「健康について」 ②「ミネルバ病院での活動報告」 ③「自分らしさを表現し、その人らしさを発見するワールドカフェ」 ④「医療機関でのピア活動」 【分科会Ⅱ】 ①「医療機関におけるピアサポート」 ②「精神障害者への偏見と対処方法の共有」 ③「個別支援の実際」 ④「医療機関での活動をどう進めていくか」 【全体会】 3日目 【講義】「ピアサポーターの可能性～みんなが変わると精神保健福祉は変わる～」 講師；聖学院大学 教授 相川 章子 氏 【閉会式】

ロ 高次脳機能障害者支援事業等

① 相談窓口及びリハビリ提供・地域生活支援事業【在宅生活支援事業】

1. 支援プログラムの実施状況及び相談件数

○リハビリテーションプログラム実施状況（※通所登録者数は各月末時点）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所登録者（人）	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	
実施回数（回）	20	21	22	22	23	18	23	21	20	19	19	20	248
延べ人数（人）	69	79	75	77	86	63	79	82	65	65	68	74	882
1日平均通所者（人）	3.5	3.8	3.4	3.5	3.7	3.5	3.4	3.9	3.3	3.4	3.6	3.7	

※終了者としては就労継続事業所へ移行し定着したため終了に至ったケースがあった。

【プログラムの内容】

AM：全通所者による話し合いで構成される文化系活動

（カラオケ、カードゲーム、茶話会等）

全通所者による話し合いで構成されるスポーツ活動

（バドミントン、バレー、卓球等）

小グループ（20名以下）による話し合いで構成される活動

（料理、話し合い、外出等）

認知訓練 グループで行う認知訓練、個別プリント課題、FEP など

軽スポーツ エクササイズやヨガ等のゆるやかな運動

目的別の登録制のグループ活動（就労プログラム、心理教育、WRAP 等）

PM：全通所者による話し合いで構成される文化系活動

（カラオケ、カードゲーム、茶話会等）

全通所者による話し合いで構成されるスポーツ活動

（バドミントン、バレー、卓球等）

行事の企画運営グループ等

創作活動（陶芸、絵画、工芸）、話し合い系活動（歴史、英会話、茶道等）

火曜日、木曜日

行事への参加：宿泊行事 センター祭 体育大会

※通所日数は、他機関との併用、体力や精神的疲労の度合いなど個々の状況に合わせて決定している。その中で複数あるプログラムから自分に適したプログラムを選択し参加する。（必要に応じスタッフがプログラム選択の助言を行う）

○相談支援件数と内容

	計
電話（家族・本人）	42
電話（関係機関）	37
来所相談	30
文書・メール	20
見学（家族・本人）	1
見学（関係機関）	1
計	131

【相談内容】

- ・本人～対人関係や生活上の悩みや不安、就労等への準備、日常生活における計画や手順の工夫など
- ・家族～関わりの苦労、工夫を聴くほか、本人と他の家族との意思疎通や目標確認
- ・医療機関（脳神経外科・リハ科・精神科病院、クリニック）～退院後の支援、リハビリテーションについて
- ・行政機関、就労支援・介護支援・相談支援事業所～受け入れ先について、対応困難なケースについて

○同行支援・家庭訪問と内容

- ・公共交通機関の利用のための評価及び家庭での生活状況の確認や家事等の本人の自立に向けた助言、指導を行った。

○精神科医による診察

- ・外来診察 【27件】

近年はデイケア利用者だけではなく、定期的な診察や生活支援のために利用する方も増えている。手帳の申請や、裁判に係る意見書を作成。

2. 支援計画の作成と評価

○新規支援計画の作成

医師の診断とコメディカルによる認知機能、ADL 評価を行い、今後必要とされる地域資源やリハビリプログラムの検討を行った。⇒関係機関との連絡調整中

○本人・家族の目標設定と振り返り

	実 施 内 容
4 月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
4 月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）
10 月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
10～11 月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）

3. 支援調整・検討会議の開催

○施設内支援検討会議

	回数	実 施 内 容
4 月	4	支援計画作成、支援計画の評価検討、対応の検討
5 月	2	対応の検討
6 月	7	対応の検討、支援計画の検討、新規受け入れ会議
7 月	2	対応の検討
8 月	4	対応の検討
9 月	1	対応の検討
10 月	1	支援計画作成、支援計画の評価検討
11 月	3	対応の検討
12 月	2	対応の検討
1 月	1	対応の検討
2 月	5	対応の検討
3 月	2	対応の検討

○他機関との支援調整会議

実施日	参加機関	内 容
5 月 21 日	市福祉課、市保護課、市保健師、道保健所 2 名、当センター1 名	情報共有と今後の支援についての話し合い
7 月 26 日	道保健所 2 名、当センター1 名	情報共有と今後の支援についての話し合い
7 月 30 日	休職中企業職員 2 名、当センター1 名、本人	情報交換と今後の支援についての話し合い

○その他他機関との連携

実施日	関係機関	内 容
4 月 13 日	脳外科病院 MSW より	入院ケースについての相談
7 月 3 日	地検 社会復帰調整官より	支援ケースについての相談
9 月 5 日	拠点機関病院 より	支援ケースの支援機関についての情報交換
10 月 1 日	精神科病院 ワーカーより	入院中ケースについて 見学相談等
1 月 8 日	相談支援センター職員より	相談ケースの引継ぎ 情報提供
2 月 28 日	脳外科病院 医師より	担当ケースの対応についての相談

4. 関係機関相互の情報交換及び参加研修会等

実施日	実 施 内 容	主 催
6月27日	平成30年度 第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	国立障害者リハビリテーションセンター
6月27日	平成30年度 第1回支援コーディネーター全国会議	国立障害者リハビリテーションセンター
7月11日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会	リハ講習会実行委員会
7月18日	高次脳機能障害学習会打ち合わせ	苫小牧保健所

実施日	実 施 内 容	主 催
7月21日	平成30年度第1回高次脳機能障害支援者研修会	高次脳機能障害支援者研修会事務局
8月6日	高次脳機能障がい者支援事業委託事業者打ち合わせ会議	北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課
8月7日	高次脳機能障がい者就労支援会議	障がい者職業センター
8月23日	高次脳機能障がい学習会	苫小牧保健所
8月29日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会	リハ講習会実行委員会
11月6日	南渡島高次脳機能障がい支援者ネットワーク会議	渡島保健所
11月14日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会	リハ講習会実行委員会
12月1日	釧根脳外傷リハビリテーション講習会	釧根脳外傷リハビリテーション講習 会実行委員会
12月15日	北海道 高次脳機能障害 リハビリテーション講習会	リハ講習会実行委員会

5. 支援ネットワークの構築

ホームページやパンフレット、研修会等で当施設を知った関係機関からの支援法や情報を求める連絡を受け、これまで確立したネットワークをもとに情報の伝達を行った。また、ケースを通じて就労継続事業所や保健師、介護支援専門員、訪問リハスタッフなどで支援目標の確認を共同で行うことや研修会の企画を共同で行うことで、お互いに相談でき対応の調整がしやすくなった。

6. 講演・講師派遣

○ 高次脳機能障がい学習会

日時：平成30年8月23日

主催：苫小牧保健所

講演内容：「高次脳機能障害について～精神科デイケアでの支援～」

講師及び助言者：作業療法士 浅井直美、野上麻未

○南渡島高次脳機能障がい支援者ネットワーク会議

日時：平成30年11月6日

主催：渡島保健所

内容：事例検討 他

講師：精神科医 阿部幸弘

○釧根脳外傷リハビリテーション講習会

日時：平成31年12月1日

主催：釧根脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会

講演内容：「高次脳機能障害について～精神科デイケアでの支援～」

講師：作業療法士 野上麻未

ハ ひきこもり対策推進事業

① 北海道ひきこもり成年相談センターの運営

② 札幌市ひきこもり地域支援センターの運営

a 相談支援実施状況

1. 相談支援概要

○相談件数（北海道）（単位：件）

相談件数計	384
新規相談	115
継続相談	269

○相談件数（札幌市）

相談件数計	1,473
新規相談	334
継続相談	1,139

○相談件数（合計）

相談件数計	1,857
新規相談	449
継続相談	1,408



2. 相談方法別内訳

○相談方法内訳（北海道）

	新規	継続	統計	構成比（%）
電話	66	54	120	29.9
来所	5	81	86	21.4
メール	22	126	149	37.1
アウトリーチ	21	8	29	7.2
出張相談等	0	0	0	0
小計	115	269	384	
連携	－	18	18	4.5
ケア会議	－	－	－	－
小計	－	18	18	－
総計	115	287	402	100

○相談方法内訳（札幌市）

	新規	継続	総計	構成比(%)
電話	226	159	385	24.4
来所	21	472	493	31.2
メール	37	405	442	28.0
アウトリーチ	2	67	69	4.4
出張相談等	48	36	84	5.3
小計	334	1,139	1,473	
連携	－	106	106	6.7
ケア会議	－	－	－	－
小計	－	106	106	
総計	334	1,245	1,579	100

○相談方法内訳（合計）

	新規	継続	総計	構成比(%)
電話	292	213	505	25.5
来所	26	553	579	29.2
メール	59	533	591	29.8
アウトリーチ	23	75	98	5.0
出張相談等	48	36	84	4.2
小計	449	1,408	1,857	
連携	－	124	124	6.3
ケア会議	－	－	－	－
小計	－	124	124	
総計	449	1,532	1,981	100

3. 相談時間

○相談時間（北海道）

	0～ 15分未満	15～ 30分未満	30～ 60分未満	60分以上	合計	延べ相談 時間 (時：分)	平均 所要時間
電話	21	49	44	6	120	52:32	26分
来所	1	1	10	74	86	95:3	1時間6分
メール	114	32	3	0	149	28:3	11分
アウトリーチ	3	1	13	12	29	26:50	56分
出張相談等	-	-	-	-	-	-	-
連携	9	9	0	0	18	4:12	14分
ケア会議	-	-	-	-	-	-	-
計	148	92	70	92	402	206:40	31分

○相談時間（札幌市）

	0～ 15分未満	15～ 30分未満	30～ 60分未満	60分以上	合計	延べ相談 時間 (時：分)	平均 所要時間
電話	123	125	117	20	385	151:50	24分
来所	2	6	53	432	493	535:33	1時間5分
メール	328	81	32	1	442	88:44	12分
アウトリーチ	0	1	9	59	69	89:55	1時間18分
連携	74	16	13	3	106	26:38	15分
出張相談等	0	4	16	64	84	91:1	1時間6分
計	527	233	240	579	1579	983:41	37分

○相談時間（合計）

	0～ 15分未満	15～ 30分未満	30～ 60分未満	60分以 上	合計	延べ相談 時間 (時：分)	平均 所要時間
電話	144	174	161	26	505	204:22	25分
来所	3	7	63	506	579	621:03	1時間06分
メール	442	113	35	1	591	117:14	12分
アウトリーチ	3	2	22	71	98	104:00	1時間07分
出張相談等	0	4	16	64	84	91:10	1時間06分
連携	83	25	13	3	124	30:50	15分
計	675	325	310	671	1,981	1,190:21	34分

4. 相談者内訳

○相談者内訳（北海道）

	件数	構成比 (%)
本人	30	26.1
父	5	4.3
母	29	25.2
両親	2	1.7
兄弟姉妹等	19	16.5
その他	30	26.1
計	115	100

○相談者内訳（札幌市）

	件数	構成比 (%)
本人	55	16.5
父	37	11.1
母	143	42.8
両親	7	2.1
兄弟姉妹等	54	16.2
配偶者	4	1.2
その他	33	9.9
不明	1	0.3
計	334	100

○相談者内訳（合計）

	件数	構成比 (%)
本人	85	19.0
父	42	9.3
母	172	38.3
両親	9	2.0
兄弟姉妹等	73	16.2
配偶者	4	1.0
その他	63	14.0
不明	1	0.2
計	449	100

5. 当事者の年齢

○当事者の年齢（北海道）

	男	女	不明	計	構成比 (%)
10 歳未満	0	0	0	0	0
10 歳以上～15 歳未満	1	1	0	2	1.7
15 歳以上～20 歳未満	10	0	0	10	8.7
20 歳以上～30 歳未満	20	10	0	30	26.1
30 歳以上～40 歳未満	23	15	0	38	33.0
40 歳以上～50 歳未満	16	2	0	18	15.7
50 歳以上～60 歳未満	5	3	0	8	7.0
60 歳以上	1	2	0	3	2.6
不明	2	4	0	6	5.2
計	78	37	0	115	100

○当事者の年齢（札幌市）

	男	女	不明	計	構成比(%)
10歳未満	1			1	0.3
10歳以上～15歳未満	9	4		13	3.9
15歳以上～20歳未満	30	10	1	41	12.3
20歳以上～30歳未満	73	26		99	29.6
30歳以上～40歳未満	46	17		63	18.9
40歳以上～50歳未満	45	24		69	20.7
50歳以上～60歳未満	23	5		28	8.4
60歳以上	3	5		8	2.4
不明	7	4	1	12	3.6
計	237	95	2	334	100

○当事者の年齢（合計）

	男	女	不明	計	構成比(%)
10歳未満	1	0	0	1	0.2
10歳以上～15歳未満	10	5	0	15	3.3
15歳以上～20歳未満	40	10	1	51	11.3
20歳以上～30歳未満	93	36	0	129	29.0
30歳以上～40歳未満	69	32	0	101	22.4
40歳以上～50歳未満	61	26	0	87	19.3
50歳以上～60歳未満	28	8	0	36	8.0
60歳以上	4	7	0	11	2.5
不明	9	8	1	18	4.0
計	315	132	2	449	100

6. 当事者の居住地

○当事者の居住地（北海道）

圏域	
石狩	25
空知	10
後志	5
胆振	12
日高	1
渡島	5
上川	13
留萌	1
オホーツク	5
十勝	13
釧路	5
根室	2
檜山	1
宗谷	1
道内	7
道外	9
計	115

○当事者の居住地（札幌市）

本人居住地	件数
札幌市内	63
白石区	26
豊平区	27
厚別区	19
手稲区	26
清田区	16
中央区	37
東区	37
西区	23
南区	26
北区	34
計	334

7. 連携状況

○連携状況（北海道）

他機関への繋ぎ	件数
市役所・役場	3
生活困窮者相談窓口	2
保健所	2
計	7

他機関からの繋ぎ	件数
市役所・役場	9
生活困窮者相談窓口	6
精神保健福祉センター	1
地域若者サポートステーション	1
民生委員	1
医療機関（他科）	1
計	19

○連携状況（札幌市）

他機関へのつなぎ	件数	構成比
さっぽろ若者サポートステーション	18	31.0%
ステップ	8	13.8%
医療機関（精神科）	7	12.1%
民間企業	7	12.1%
区役所	6	10.3%
医療機関（他科）	6	10.3%
警察	2	3.4%
介護事業所等	1	1.7%
保護観察所	1	1.7%
NPO 団体	1	1.7%
北広島市	1	1.7%
計	58	100%

他機関からのつなぎ	件数	構成比
さっぽろ若者サポートステーション	18	29.0%
区役所	7	11.3%
民間企業	4	6.5%
医療機関（他科）	4	6.5%
相談支援事業所	4	6.5%
札幌市生活就労支援センター	4	6.5%
医療機関（精神科）	4	6.5%
学校	4	6.5%
地域包括支援センター	3	4.8%
歯科・歯科協会等	3	4.8%
NPO 団体	2	3.2%
介護事業所等	1	1.6%
地域定着支援センター	1	1.6%
グループホーム	1	1.6%
自閉症・発達障がい支援センター	1	1.6%
社会福祉協議会	1	1.6%
計	62	100%

8. ひきこもり相談から当法人の精神科デイケアを活用したケース

○精神科デイケアへの通所（北海道）

	人数
平成 30 年度	3
平成 21～29 年度	35
計	38

○精神科デイケアへの通所（札幌市）

	人数
平成 30 年度	3 名
平成 29 年度	3 名
平成 27 年度～平成 28 年度	9 名
計	15 名

○精神科デイケアへの通所（合計）

	人数
平成 30 年度	6 名
平成 21～29 年度	47 名
計	53 名

○ひきこもり外来状況（北海道）

年 度	平成 21 年～29 年度	平成 30 年度	計
延べ回数	282 回	18 回	300 回
新規ケース	57 名	2 名	59 名

○ひきこもり外来状況（札幌市）

年 度	平成 27-29 年度	平成 30 年度	計
延べ回数	176 回	177 回	353 回
新規ケース	34 名	12 名	46 名

○ひきこもり外来状況（合計）

年 度	平成 27-29 年度	平成 30 年度	計
延べ回数	458 回	195 回	653 回
新規ケース	91 名	14 名	105 名

b 支援ネットワークの構築等

1. ネットワーク構築状況

○北海道

月	日	実 施 内 容	備 考
5	16	くらしサポートセンターえべつ事業説明打ち合わせ	2名派遣
5	17	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 （当センター当事者 B 氏対応）	1名来所
6	14	宮城県精神保健福祉センター 精神科医見学対応	1名来所
6	19	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 （当センター当事者 B 氏対応）	1名来所
6	22	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 （当センター当事者 A 氏対応）	1名来所
10	26	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 （当センター当事者 C 氏対応）	1名来所
1	10	北広島生活困窮者自立支援窓口 くらしサポートネット	2名来所
1	10	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 （当センター当事者 D 氏対応）	1名来所
-	-	静内保健所より ケース相談についての連絡	電話
-	-	岡山県総社市より北海道のひきこもり支援について問い合わせ	電話
-	-	恵庭市 B 型事業所よりひきこもりについて問い合わせ	電話

○札幌市

月	日	実 施 内 容	備 考
5	17	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 (当センター当事者B氏 対応)	1名来所
5	23	札幌市子ども未来局 職員より問い合わせ（相談実数等）	電話
5	30	北海道通信社より 問い合わせ（子ども未来局経由） (事業報告書の詳細数値、および他グラフについて)	メール
6	19	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 (当センター当事者B氏 対応)	1名来所
6	22	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 (当センター当事者A氏 対応)	1名来所
7	26	札幌藻岩高等学校 教員6名来所（見学説明）	6名来所
10	26	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 (当センター当事者C氏 対応)	1名来所
11	5	札幌市西区相談員3名来所	3名来所
12	28	平成30年度厚生労働省社会福祉推進事業 「ひきこもり支援における行政機関と家族会の連携状況」調査	調査用紙
3	26	北海道医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 (当センター当事者D氏 対応)	1名来所

2. ひきこもり支援者連絡会議実施状況（北海道）

今年度は、「ひきこもり相談会・研修会」として、各保健所および市町村に希望確認をし、希望のあった地域と連絡調整をし、相談会等を実施した。希望確認の項目と実施状況は以下のとおり。

＜希望確認項目＞

- ①関わっている機関の職員が集まってのケース検討会
- ②個別相談（当事者、家族）
- ③ひきこもりに関する研修会
- ④その他

月	日	実 施 内 容	備 考
7	10	南幌町 ひきこもり相談会（岩見沢保健所）	・ 検討（1ケース）
8	29	余市町 ひきこもり研修会（倶知安保健所）	・ 研修会講師
9	7	苫小牧市 ひきこもり相談会（苫小牧保健所）	・ 検討（3ケース）

月	日	実 施 内 容	備 考
9	7	白老町 ひきこもり相談会（苫小牧保健所）	・ 検討（１ケース）
9	10	芦別市 ひきこもり相談会（滝川保健所）	・ 検討（１ケース）
10	4	美幌町 ひきこもり研修会（北見保健所）	・ 研修会講師
10	5	訓子府町 ひきこもり相談会	・ 検討（１ケース）
10	5	津別町 ひきこもり相談会	・ 検討（１ケース） ・ 訪問（１ケース）
10	15	浦幌町 ひきこもり相談会（帯広保健所）	・ 検討（２ケース）
10	16	帯広市 ひきこもり相談会	・ 相談、検討（６ケース）
10	16	幕別町・音更町・新得町・本別町・更別村 合同 ひきこもり研修会	・ 研修会講師
10	25	稚内市 「ひきこもり」の理解と対応のヒントなど	・ 研修会講師 ・ 検討（１ケース）
11	1	江差町 ひきこもり研修会（江差保健所）	・ 研修会講師
11	2	八雲町 ひきこもり相談会	・ 検討（１ケース）
11	5	函館市 ひきこもり研修会（渡島保健所）	・ 研修会講師
11	15	旭川市 ひきこもり家族学習会（旭川保健所）	・ 研修会講師
11	16	上川町 ひきこもりケース検討会	・ 検討（２ケース）
11	28	富良野市 「ひきこもり」の理解と対応のヒントなど	・ 研修会講師 ・ 検討（２ケース）
1	9	小樽市 子供のひきこもりを考える家族セミナー	・ 研修会講師
3	22	古平町 ひきこもり研修会（倶知安保健所） ※断水災害により中止	-

3 ひきこもり出張無料相談会実施状況（札幌市）

当センターの通常相談の開設日は平日の日中である。相談者によっては、平日の日中は「仕事があり相談ができない」等、多様なニーズが考えられる。そのため、「ひきこもり出張無料相談会」は各月４回程度（平日水曜日２回、土曜日・日曜日１回ずつ）１３：３０～１６：００に実施した。

「ひきこもり出張無料相談会」の実施にあたっては、当センターのホームページ、新聞掲載、広報さっぽろ（誌面、地デジ、アプリ）、１０区役所・１０区民センターおよび他関係機関へのチラシ配布等で周知を行った。特に、広報誌（配布）への掲載は市民からの反響が大きかった。また、今年度は地下鉄構内の掲示板にポスターを掲示も行った。各回、申込状況に合わせて、相談員を調整した。今年度は「さっぽろ若者サポートステーション」との合同説明・相談会を２回実施した。

月	日	実 施 内 容	備 考
5	9	対象地区：厚別区 場 所：厚別区民センター	・相談４件
5	19	対象地区：豊平区 場 所：豊平区民センター	・相談１件
5	23	対象地区：白石区 場 所：白石南栄会館	・相談０件
5	27	対象地区：北区 場 所：北区民センター	・相談３件
6	13	対象地区：南区 場 所：南区役所	・相談３件
6	17	対象地区：中央区 場 所：中央区民センター	・相談４件
6	27	対象地区：西区 場 所：西区民センター	・相談３件
7	7	対象地区：厚別区 場 所：厚別区民センター	・相談１件
7	11	対象地区：手稲区 場 所：手稲区民センター	・相談２件
7	25	対象地区：清田区 場 所：清田区役所 (さっぽろ若者サポートステーションとの合同説明・相談会①)	・相談２件
7	29	対象地区：白石区 場 所：白石区民センター	・相談０件
8	8	対象地区：豊平区 場 所：豊平区民センター	・相談３件
8	18	対象地区：南区 場 所：南区民センター	・相談３件
8	22	対象地区：中央区 場 所：中央区民センター	・相談２件
8	26	対象地区：西区 場 所：西区民センター	・相談１件
9	8	対象地区：手稲区 場 所：手稲区民センター	・相談１件
9	12	対象地区：東区 場 所：東区民センター	・相談１件

月	日	実 施 内 容	備 考
9	26	対象地区：北区 場 所：北区民センター	・相談1件
9	30	対象地区：清田区 場 所：清田区役所	・相談2件
10	10	対象地区：西区 場 所：西区民センター	・相談5件
10	20	対象地区：中央区 場 所：中央区民センター	・相談3件
10	24	対象地区：白石区 場 所：白石区民センター	・相談2件
10	28	対象地区：豊平区 場 所：豊平区民センター	・相談0件
11	7	対象地区：中央区 場 所：中央区民センター (さっぽろ若者サポートステーションとの合同説明・相談会②)	・相談3件
11	9	対象地区：厚別区 場 所：厚別区民センター	・相談2件
11	17	対象地区：北区 場 所：北区民センター	・相談4件
11	25	対象地区：東区 場 所：東区民センター	・相談3件
12	8	対象地区：東区 場 所：東区民センター	・相談3件
12	12	対象地区：手稲区 場 所：手稲区民センター	・相談2件
12	26	対象地区：清田区 場 所：清田区役所	・相談3件
1	19	対象地区：白石区 場 所：白石区民センター	・相談2件
1	27	対象地区：厚別区 場 所：厚別区民センター	・相談1件
2	13	対象地区：豊平区 場 所：豊平区民センター	・相談1件
2	16	対象地区：清田区 場 所：清田区役所	・相談2件
2	24	対象地区：手稲区 場 所：手稲区民センター	・相談2件
2	27	対象地区：南区 場 所：南区民センター	・相談3件
3	13	対象地区：東区 場 所：東区民センター	・相談1件
3	16	対象地区：西区 場 所：西区民センター	・相談2件
3	24	対象地区：南区 場 所：南区民センター	・相談1件
3	27	対象地区：北区 場 所：北区民センター	・相談2件

- 当年度の「ひきこもり出張無料相談会」は、相談数 84 件（うち新規相談 48 件）。相談者数が最も多かった区は中央区。次いで西区、南区、北区となっている。
- 当センター（白石区）から遠方の区や、交通機関等の利便性の高い中央区に相談数が多いことが窺える。

4 ひきこもり支援関係者研修会実施状況

月	日	実 施 内 容	備 考
6	30	平成 30 年度ひきこもり支援機関関係職員等研修会 社会的ひきこもり支援のソリューション・フォーカスト・アプローチ (講義とグループワーク)	参加 26 名 (札幌市 17 名 市外 9 名)

5 ひきこもり関連会議参加状況

月	日	実 施 内 容	備 考
6	22	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第 1 回実務者会議	2 名参加
6	29	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会議（横浜市）	1 名参加
6	30	長期在宅ひきこもり当事者向け 家族アセスメントツール開発事業支援開発検討委員会第 1 回 (NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク主催)	1 名参加
9	26	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第 2 回実務者会議	1 名参加
11	19	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会議（神戸市）	1 名参加
12	1	長期在宅ひきこもり当事者向け 家族アセスメントツール開発事業支援開発検討委員会第 2 回 (NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク主催)	1 名参加
12	5	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第 3 回実務者会議	1 名参加
3	15	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第 4 回実務者会議及び代表者会議	1 名参加

6 講師派遣状況等

月	日	実 施 内 容	備 考
5	16	札幌市生活就労支援センター「ステップ」職員勉強会	3 名派遣
7	18	北海道ホームヘルプサービス研究大会 「メンタルフォロー～精神面からケアするには」 (※ひきこもりについて含む)	1 名派遣
7	27	江別市くらしサポートセンターえべつ 事業説明会・懇談会	2 名派遣
8	23	第 56 回全国大学保健管理協会 北海道地方研究会 「社会的ひきこもりとは何か～ケースの大まかなイメージ」	1 名派遣
12	6	札幌市自立支援協議会 相談支援部会 研修会・グループワーク（質疑）	2 名派遣
12	8	青森市 講演会「社会的ひきこもりの理解と支援方法」	1 名派遣

7 外部研修参加状況等

月	日	実 施 内 容	備 考
9	29 30	手紙を活用したピア・アウトリーチ開発実務者予定者研修会 主催：NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク	3名参加
3	8	DVD 購入 ・KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 全国大会 DVD (2017 年) ・地域におけるひきこもり支援研修会ガイドブック DVD (2017 年)	職員の研修 および普及 啓発の参考 のため

8 ひきこもりサポーター養成研修事業

月	日	実 施 内 容	備 考
11	24	ひきこもりサポーター養成研修 「衝動性・攻撃性のリスクが高い社会的ひきこもりケースへの家族支援」 ～機能的家族支援の実際～	参加者 23 名 (札幌 10 名 市外 13 名)
		研修会撮影打ち合わせ (就労継続支援B型事業所 ここりカ・プロダクション)	
		研修会撮影 (就労継続支援B型事業所 ここりカ・プロダクション)	
		インターネット配信 (※講義部分のみ) 配信期間：12/25 (火)～2/1 (金)	
3	11	北海道新聞 (旭川支所) より ひきこもりサポーター派遣事業について問い合わせ	電話
3	18	平成 30 年度ひきこもりサポーター養成協議会	※設置要綱 別紙 1

○今年度は、「ひきこもりサポーター養成研修事業」における講義部分を研修後にインターネット配信を行った。

○なお、「ひきこもりサポーターの養成登録が本格化した場合にサポーター登録を希望するか」と希望調査も行っている。

※研修会申込 54 名

サポーター希望者：札幌市 33 名 (希望 11、検討中 9、しない 1、未記入 12)

札幌市外 21 名 (希望 10、検討中 10、未記入 3)

9 居場所「よりどころ」(親の会・当事者会)への専門職の派遣(札幌市)

NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワークが実施している「よりどころ」に月 2 回参加し、精神保健福祉士等の専門職が相談に対応できるような体制を確保している。よりどころから新規相談に繋がったケースや、以前相談歴があり、よりどころがきっかけで再相談に至ったケースもあった。また、当センターの相談者が「親の会・当事者会」に繋がるケースもあり、社会資源の 1 つになっている。

月	日	実 施 内 容	備 考
6	25	よりどころ 親の会①	3名派遣
7	2	よりどころ 当事者会①	1名派遣
7	23	よりどころ 親の会②	1名派遣
8	6	よりどころ 当事者会②	1名派遣
8	20	よりどころ 親の会③	1名派遣
9	2	よりどころ 当事者会③	1名派遣

月	日	実 施 内 容	備 考
9	10	よりどころ 親の会④	1名派遣
10	1	よりどころ 当事者会④	1名派遣
10	22	よりどころ 親の会⑤	1名派遣
11	5	よりどころ 当事者会⑤	1名派遣
11	19	よりどころ 親の会⑥	1名派遣
12	3	よりどころ 当事者会⑥	1名派遣
12	17	よりどころ 親の会⑦	1名派遣
1	7	よりどころ 当事者会⑦	1名派遣
1	21	よりどころ 親の会⑧ ※心理教育を実施	3名派遣
2	4	よりどころ 当事者会⑧	1名派遣
2	18	よりどころ 親の会⑨ ※心理教育を実施	3名派遣
3	4	よりどころ 当事者・親の会 合同企画：ひきこもりカフェ in 札幌	1名派遣

c 普及啓発

「ひきこもり」に関する基本的な知識や、姿勢、支援方法等、正しい知識の普及に努めた。

1. 普及啓発実施状況

月	日	実 施 内 容	備 考
4	2	NHK 札幌放送局 放送部 (報道記者) 来所取材	1名来所
4	19	NHK ほっとニュース北海道 「中高年のひきこもり 8050 問題」放送	テレビ
4	24	「ひきこもり出張無料相談会」北海道新聞掲載	新聞掲載
4	27	「ひきこもり出張無料相談会」まんまる新聞掲載	新聞掲載
5	29	北広島市保健福祉部保健福祉課 「ひきこもり支援の実際」研修会について掲載 (※昨年度分)	ホームページ
6	22	くらしの新聞社 まんまる新聞 相談先一覧に掲載	新聞掲載
6	27	「ひきこもり出張無料相談会」まんまる新聞掲載	新聞掲載
6	28	北海道社会福祉協議会 「2019 年度版 社会福祉手帳及び民生委員児童委員手帳 機関情報」掲載	機関誌
12	8	「ひきこもり出張無料相談会」フリッパー北東版 掲載	情報誌
12	25	「ひきペディア」 支援機関として掲載 ※ひきこもり当事者・経験者運営による総合情報ポータルサイト	新聞掲載
12	26	「ひきこもり出張無料相談会」まんまる新聞掲載	情報掲載

月	日	実 施 内 容	備 考
1 2	2 8	平成 30 年度 厚生労働省 社会福祉推進事業「ひきこもり支援における行政機関と家族会の連携状況調査」	郵送
2	1 3	北海道新聞 取材	1 名来所
2	2 4	北海道新聞 「8050 問題について」 記事掲載	新聞掲載
3	1 9	HBC テレビ ひきこもり特集 放送	テレビ
-	-	「ひきこもり出張無料相談会」(計 10 回) 7 月～3 月 北海道新聞「さっぽろ 10 区」掲載	新聞掲載
-	-	札幌市南区保健福祉課より問い合わせ ひきこもり支援センターリーフレット 20 部 郵送	郵送

2. インターネット利用（ホームページ）による情報発信

「ひきこもり」に対する理解と支援団体、相談機関などとネットワークを構築するためホームページによる情報発信を行った。

ひきこもり相談ホームページアクセス件数

年 度	件 数	備 考
平成 30 年度	2 0 , 3 2 0 件	
29 年度	1 9 , 8 7 6 件	
28 年度	1 7 , 2 9 7 件	
27 年度	1 3 , 5 5 2 件	
26 年度	1 3 , 8 6 5 件	
25 年度	1 1 , 4 3 1 件	
24 年度	8 , 0 3 2 件	
23 年度	4 , 2 3 2 件	
22 年度	3 , 2 2 0 件	
21 年度	3 , 1 0 9 件	(9 ヶ月分)

○リーフレットについて

講演会や研修会などを活用し、ひきこもり本人および家族、関係者に向け配布した。

3 会 計 部 門

貸 借 対 照 表

平成31年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	11,197,756	12,439,906	△1,242,150
普通預金	11,197,756	12,439,906	△1,242,150
未収金	18,756,465	17,406,927	1,349,538
前払金	158,845	70,000	88,845
流動資産合計	30,113,066	29,916,833	196,233
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,982,970	49,982,970	
諸貯金	17,030	17,030	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	44,194,198	40,972,988	3,221,210
減価償却引当資産	48,760,608	50,110,608	△1,350,000
土地	347,016,000	347,016,000	
建物	497,434,011	497,434,011	
什器備品	24,030,809	22,680,809	1,350,000
減価償却累計額 △	394,331,707	384,470,902	9,860,805
特定資産合計	567,103,919	573,743,514	△6,639,595
(3) その他固定資産			
構築物	7,414,959	7,414,959	
車両運搬具	2,207,755	2,207,755	
減価償却累計額 △	8,918,383	8,691,430	226,953
電話加入権	352,024	352,024	
預託金	45,460	45,460	
その他固定資産合計	1,101,815	1,328,768	△226,953
固定資産合計	618,205,734	625,072,282	△6,866,548
資産の部合計	648,318,800	654,989,115	△6,670,315
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,588,664	4,325,803	262,861
未払消費税等	645,500	429,600	215,900
前受金	224,000		224,000
預り金	855,953	726,932	129,021
流動負債合計	6,314,117	5,482,335	831,782
2 固定負債			
退職給付引当金	44,194,198	40,972,988	3,221,210
固定負債合計	44,194,198	40,972,988	3,221,210
負債の部合計	50,508,315	46,455,323	4,052,992
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	139,517,858	148,155,031	△8,637,173
民間助成金	67,637	98,853	△31,216
寄付金	30,000,000	30,000,000	
受贈土地	347,016,000	347,016,000	
指定正味財産合計	516,601,495	525,269,884	△8,668,389
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	()
(うち特定資産への充当額)	(466,533,857)	(475,171,030)	(△8,637,173)
2 一般正味財産	81,208,990	83,263,908	△2,054,918
(うち特定資産への充当額)	(56,375,864)	(57,599,496)	(△1,223,632)

貸 借 対 照 表

平成31年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
正味財産の部合計	597,810,485	608,533,792	△10,723,307
負債及び正味財産合計	648,318,800	654,989,115	△6,670,315

正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	239,276	239,276	
特定資産運用益			
特定資産受取利息	545	516	29
事業収益			
国保連合会収益	33,872,618	37,403,383	△3,530,765
社保支払基金収益	31,426,772	31,062,931	363,841
介護自己負担金収益	5,109,180	4,534,700	574,480
研修事業収益	67,500	102,000	△34,500
就労支援事業収益	4,266,320	2,000,516	2,265,804
訓練等給付費収益	30,512,058	28,957,088	1,554,970
就労支援自己負担金収益	655,400	639,600	15,800
計画相談支援給付費収益	619,314	780,291	△160,977
その他の事業収益	211,440	622,620	△411,180
受取補助金等			
受取補助金等振替額	8,668,389	8,888,389	△220,000
北海道委託金	13,583,538	13,964,789	△381,251
札幌市委託金	11,099,160	7,325,640	3,773,520
北海道補助金	328,000		328,000
受取寄付金			
受取寄付金	444,000	1,463,400	△1,019,400
受取寄付金振替額		25,000	△25,000
雑収益			
受取利息	737	722	15
雑収益	434,884	915,724	△480,840
経常収益計	141,539,131	138,926,585	2,612,546
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	66,045,327	62,399,340	3,645,987
臨時雇賃金	9,227,382	8,885,205	342,177
退職給付費用	2,931,301	3,650,302	△719,001
福利厚生費	11,015,744	10,128,306	887,438
旅費交通費	2,123,101	1,775,098	348,003
通信運搬費	650,410	710,196	△59,786
減価償却費	9,451,980	9,289,090	162,890
消耗什器備品費	305,465	1,112,299	△806,834
消耗品費	3,265,980	2,276,632	989,348
修繕費	497,667	158,575	339,092
印刷製本費	130,376	200,880	△70,504
燃料費	1,190,464	1,095,061	95,403
光熱水料費	2,235,489	2,089,546	145,943
賃借料	1,849,162	1,605,037	244,125
保険料	506,146	686,209	△180,063
諸謝金	2,368,000	1,813,500	554,500
租税公課	1,141,977	975,661	166,316
支払負担金	544,934	311,794	233,140
委託費	5,176,853	5,145,644	31,209
雑費	4,105	9,500	△5,395

正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
医薬材料費	4,032	18,466	△14,434
ダイケア材料費	932,602	891,832	40,770
利用者工賃	3,468,367	1,688,700	1,779,667
支払手数料	1,369,924	1,074,613	295,311
管理費			
役員報酬	118,400	122,100	△3,700
給料手当	12,030,139	11,692,040	338,099
臨時雇賃金	11,448	11,299	149
退職給付費用	289,909	361,019	△71,110
福利厚生費	1,989,429	1,931,573	57,856
会議費	35,554	35,956	△402
旅費交通費	39,160	40,340	△1,180
通信運搬費	72,134	87,853	△15,719
減価償却費	635,778	623,191	12,587
消耗品費	156,213	161,772	△5,559
修繕費	35,738	11,287	24,451
燃料費	82,145	75,543	6,602
光熱水料費	139,065	130,407	8,658
賃借料	56,149	42,554	13,595
保険料	60,004	61,231	△1,227
租税公課	40,923	34,739	6,184
支払負担金	57,246	50,946	6,300
雑費	27,922	32,960	△5,038
支払手数料	226,205	230,168	△3,963
委託費	1,053,700	1,056,623	△2,923
経常費用計	143,594,049	134,785,087	8,808,962
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,054,918	4,141,498	△6,196,416
評価損益等計			
当期経常増減額	△2,054,918	4,141,498	△6,196,416
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
什器備品売却損		1	△1
経常外費用計		1	△1
当期経常外増減額		△1	1
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△2,054,918	4,141,497	△6,196,415
税引前当期一般正味財産増減額	△2,054,918	4,141,497	△6,196,415
当期一般正味財産増減額	△2,054,918	4,141,497	△6,196,415
一般正味財産期首残高	83,263,908	79,122,411	4,141,497
一般正味財産期末残高	81,208,990	83,263,908	△2,054,918
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取民間助成金		220,000	△220,000
受取寄付金			
受取寄付金		25,000	△25,000
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	8,668,389	8,913,389	△245,000
当期指定正味財産増減額	△8,668,389	△8,668,389	
指定正味財産期首残高	525,269,884	533,938,273	△8,668,389

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
指定正味財産期末残高	516,601,495	525,269,884	△8,668,389
Ⅲ 正味財産期末残高	597,810,485	608,533,792	△10,723,307

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合 計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益		239,276		239,276
基本財産受取利息		239,276		239,276
特定資産運用益	496	49		545
特定資産受取利息	496	49		545
事業収益	91,250,648	15,575,642	△85,688	106,740,602
国保連合会収益	24,464,931	9,407,687		33,872,618
社保支払基金収益	25,944,147	5,482,625		31,426,772
デイケア自己負担金収益	4,423,850	685,330		5,109,180
研修事業収益	67,500			67,500
就労支援事業収益	4,352,008		△85,688	4,266,320
訓練等給付費収益	30,512,058			30,512,058
就労支援自己負担金収益	655,400			655,400
計画相談支援給付費収益	619,314			619,314
その他の事業収益	211,440			211,440
受取補助金等	33,100,397	578,690		33,679,087
受取補助金等振替額	8,089,699	578,690		8,668,389
北海道委託金	13,583,538			13,583,538
札幌市委託金	11,099,160			11,099,160
北海道補助金	328,000			328,000
受取寄付金	444,000			444,000
受取寄付金	444,000			444,000
雑収益	364,654	70,967		435,621
受取利息	737			737
雑収益	363,917	70,967		434,884
経常収益計	125,160,195	16,464,624	△85,688	141,539,131
(2) 経常費用				
事業費	126,522,476		△85,688	126,436,788
給料手当	66,045,327			66,045,327
臨時雇賃金	9,227,382			9,227,382
退職給付費用	2,931,301			2,931,301
福利厚生費	11,015,744			11,015,744
旅費交通費	2,123,101			2,123,101
通信運搬費	650,410			650,410
減価償却費	9,451,980			9,451,980
消耗什器備品費	305,465			305,465
消耗品費	3,265,980			3,265,980
修繕費	497,667			497,667
印刷製本費	130,376			130,376
燃料費	1,190,464			1,190,464
光熱水料費	2,235,489			2,235,489
賃借料	1,849,162			1,849,162
保険料	506,146			506,146
諸謝金	2,368,000			2,368,000
租税公課	1,141,977			1,141,977
支払負担金	544,934			544,934
委託費	5,176,853			5,176,853
雑費	4,105			4,105
医薬材料費	4,032			4,032
デイケア材料費	932,602			932,602
利用者工賃	3,468,367			3,468,367
支払手数料	1,455,612		△85,688	1,369,924
管理費		17,157,261		17,157,261
役員報酬		118,400		118,400
給料手当		12,030,139		12,030,139
臨時雇賃金		11,448		11,448
退職給付費用		289,909		289,909
福利厚生費		1,989,429		1,989,429
会議費		35,554		35,554

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合 計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	
旅費交通費		39,160		39,160
通信運搬費		72,134		72,134
減価償却費		635,778		635,778
消耗品費		156,213		156,213
修繕費		35,738		35,738
燃料費		82,145		82,145
光熱水料費		139,065		139,065
賃借料		56,149		56,149
保険料		60,004		60,004
租税公課		40,923		40,923
支払負担金		57,246		57,246
雑費		27,922		27,922
支払手数料		226,205		226,205
委託費		1,053,700		1,053,700
経常費用計	126,522,476	17,157,261	△85,688	143,594,049
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,362,281	△692,637		△2,054,918
評価損益等計				
当期経常増減額	△1,362,281	△692,637		△2,054,918
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△1,362,281	△692,637		△2,054,918
税引前当期一般正味財産増減額	△1,362,281	△692,637		△2,054,918
当期一般正味財産増減額	△1,362,281	△692,637		△2,054,918
一般正味財産期首残高	75,058,106	8,205,802		83,263,908
一般正味財産期末残高	73,695,825	7,513,165		81,208,990
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	8,089,699	578,690		8,668,389
一般正味財産への振替額	8,089,699	578,690		8,668,389
当期指定正味財産増減額	△8,089,699	△578,690		△8,668,389
指定正味財産期首残高	516,683,491	8,586,393		525,269,884
指定正味財産期末残高	508,593,792	8,007,703		516,601,495
III 正味財産期末残高	582,289,617	15,520,868		597,810,485

財 産 目 録

平成31年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金 普通預金 未収金 前払金	北洋銀行白石中央支店他5口座 診療報酬、診療報酬自己負担分他 前払家賃及び会場使用料他	運転資金として	11,197,756 11,197,756 18,756,465 158,845
流動資産合計				30,113,066
(固定資産)	投資有価証券	札幌市平成27年度第9回公募公債他	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	49,982,970
特定資産	諸貯金	北洋銀行白石中央支店	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	17,030
	退職給付引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他2口座	右記金額のうち、40,216,720円は公益目的事業会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている。	44,194,198
	減価償却引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他1口座	右記金額のうち、3,977,478円は法人会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている。 右記金額のうち、45,493,647円は公益目的事業会計の引当資産であり、資産取得資金として管理されている。	48,760,608
	土地	4,819.66㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	右記金額のうち、3,266,961円は法人会計の引当資産であり、資産取得資金として管理されている。	347,016,000
	建物	1,793.7㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	右記金額のうち、464,243,115円は公益目的保有財産であり、公益目的事業の施設に使用している。	497,434,011
	什器備品	応接セット他65点	右記金額のうち、33,190,896円は管理活動財産であり、法人会計の施設に使用している。	24,030,809
その他固定資産	減価償却累計額 △		右記金額のうち、23,920,264円は公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。 右記金額のうち、110,545円は管理活動財産であり、法人会計において使用している。	394,331,707

財 産 目 録

平成31年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
構築物	車両運搬具	館名板他3点 ホンダ ストリーム他1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の設備として使用している。 右記金額のうち、2,041,855円は公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。 右記金額のうち、165,900円は管理活動財産であり、法人会計において使用している。	7,414,959
	減価償却累計額 △ 電話加入権	日本電信電話㈱	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	8,918,383
	預託金	リサイクル預託金 車輻2台分・事業所敷金	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している車輻運搬具に係るリサイクル料及び事業所敷金である。	352,024
				45,460
固定資産合計				618,205,734
資産合計				648,318,800
(流動負債)	未払金	職員及び商業者等に対する未払額	公益目的事業会計及び法人会計での給与手当及び経常経費の未払分である。	4,588,664
	未払消費税等 前受金 預り金	平成30年度消費税 次年度研修参加費前受分 社会保険料職員自己負担分		645,500
				224,000
				855,953
流動負債合計				6,314,117
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	44,194,198
				44,194,198
固定負債合計				50,508,315
負債合計				597,810,485
正味財産				

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

個別原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法

(3) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,982,970			49,982,970
諸貯金	17,030			17,030
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
土地	347,016,000			347,016,000
建物	134,551,008		9,393,028	125,157,980
什器備品	1,092,910	1,350,000	467,777	1,975,133
退職給付引当資産	40,972,988	3,221,210		44,194,198
減価償却引当資産	50,110,608		1,350,000	48,760,608
小 計	573,743,514	4,571,210	11,210,805	567,103,919
合 計	623,743,514	4,571,210	11,210,805	617,103,919

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,982,970	49,982,970		
諸貯金	17,030	17,030		
小 計	50,000,000	50,000,000	0	0
特定資産				
土地	347,016,000	347,016,000		
建物	125,157,980	119,517,834	5,640,146	
什器備品	1,975,133	23	1,975,110	
退職給付引当資産	44,194,198			44,194,198
減価償却引当資産	48,760,608		48,760,608	
小 計	567,103,919	466,533,857	56,375,864	44,194,198
合 計	617,103,919	516,533,857	56,375,864	44,194,198

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高（貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合）

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	18,756,465		18,756,465
合 計	18,756,465	0	18,756,465

7. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
該当なし

8. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
北海道平成25年度第15回公募公債	30,022,955	30,963,000	940,045
札幌市平成27年度第9回公募公債	19,960,015	20,242,000	281,985
合 計	49,982,970	51,205,000	1,222,030

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
地域移行支援事業	北海道		7,340,450	7,340,450	0	一般正味財産
高次脳機能事業	〃		1,596,088	1,596,088	0	一般正味財産
ひきこもり事業	〃		4,647,000	4,647,000	0	一般正味財産
ひきこもり事業	札幌市		11,099,160	11,099,160	0	一般正味財産
補助金						
キャリアパス事業	北海道		328,000	328,000	0	一般正味財産
民間助成金					0	
赤い羽根助成	札幌市共募	98,853		31,216	67,637	指定正味財産
合 計		98,853	25,010,698	25,041,914	67,637	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	8,668,389
合 計	8,668,389

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な後発事象

該当なし

13. その他

該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	49,982,970			49,982,970
	諸貯金	17,030			17,030
	基本財産計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産	土地	347,016,000			347,016,000
	建物	134,551,008		9,393,028	125,157,980
	什器備品	1,092,910	1,350,000	467,777	1,975,133
	退職給付引当資産	40,972,988	3,221,210		44,194,198
	減価償却引当資産	50,110,608		1,350,000	48,760,608
	特定資産計	573,743,514	4,571,210	11,210,805	567,103,919

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	40,972,988	3,221,210			44,194,198

収 支 計 算 書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 基本財産運用収入	230,000	239,276	9,276
基本財産利息収入	230,000	239,276	9,276
(2) 特定資産運用収入	3,000	545	△2,455
特定資産利息収入	3,000	545	△2,455
(5) 事業収入	107,418,000	106,740,602	△677,398
国保連合会収入	40,384,000	33,872,618	△6,511,382
社保支払基金収入	25,672,000	31,426,772	5,754,772
介護自己負担金収入	4,494,000	5,109,180	615,180
研修事業収入	200,000	67,500	△132,500
就労支援事業収入	4,352,000	4,266,320	△85,680
訓練等給付費収入	30,767,000	30,512,058	△254,942
就労支援自己負担金収入	562,000	655,400	93,400
計画相談支援給付費収入	652,000	619,314	△32,686
地域相談支援給付収入	65,000		△65,000
その他の事業収入	270,000	211,440	△58,560
(6) 補助金等収入	25,108,000	25,010,698	△97,302
北海道委託金収入	13,584,000	13,583,538	△462
札幌市委託金収入	11,082,000	11,099,160	17,160
北海道補助金	442,000	328,000	△114,000
(8) 寄付金収入	444,000	444,000	
寄付金収入	444,000	444,000	
(9) 雑収入	1,003,000	435,621	△567,379
受取利息収入	2,000	737	△1,263
雑収入	1,001,000	434,884	△566,116
事業活動収入計	134,206,000	132,870,742	△1,335,258
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	114,150,000	114,053,507	96,493
給料手当支出	66,046,000	66,045,327	673
臨時雇賃金支出	9,228,000	9,227,382	618
福利厚生費支出	11,016,000	11,015,744	256
旅費交通費支出	2,124,000	2,123,101	899
通信運搬費支出	651,000	650,410	590
消耗什器備品費支出	306,000	305,465	535
消耗品費支出	3,266,000	3,265,980	20
修繕費支出	498,000	497,667	333
印刷製本費支出	131,000	130,376	624
燃料費支出	1,191,000	1,190,464	536
光熱水料費支出	2,236,000	2,235,489	511
賃借料支出	1,850,000	1,849,162	838
保険料支出	507,000	506,146	854
諸謝金支出	2,368,000	2,368,000	
租税公課支出	1,142,000	1,141,977	23
負担金支出	545,000	544,934	66
委託費支出	5,177,000	5,176,853	147
雑支出	5,000	4,105	895
医薬材料費支出	5,000	4,032	968
デイケア材料費支出	933,000	932,602	398
利用者工賃支出	3,469,000	3,468,367	633
手数料支出	1,456,000	1,369,924	86,076

収 支 計 算 書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
(2) 管理費支出	16,833,000	16,231,574	601,426
役員報酬支出	211,000	118,400	92,600
給料手当支出	12,136,000	12,030,139	105,861
臨時雇賃金	12,000	11,448	552
福利厚生費支出	2,080,000	1,989,429	90,571
会議費支出	40,000	35,554	4,446
旅費交通費支出	46,000	39,160	6,840
通信運搬費支出	108,000	72,134	35,866
消耗什器備品費支出	38,000		38,000
消耗品費支出	263,000	156,213	106,787
修繕費支出	36,000	35,738	262
燃料費支出	91,000	82,145	8,855
光熱水料費支出	147,000	139,065	7,935
賃借料支出	57,000	56,149	851
火災保険料支出	61,000	60,004	996
租税公課支出	41,000	40,923	77
負担金支出	155,000	57,246	97,754
雑支出	28,000	27,922	78
手数料支出	227,000	226,205	795
委託費支出	1,056,000	1,053,700	2,300
事業活動支出計	130,983,000	130,285,081	697,919
事業活動収支差額	3,223,000	2,585,661	△637,339
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
(2) 特定資産取崩収入	1,350,000	1,350,000	
減価償却引当資産取崩収入	1,350,000	1,350,000	
投資活動収入計	1,350,000	1,350,000	
2. 投資活動支出			
(2) 特定資産取得支出	4,573,000	4,571,210	1,790
退職給付引当資産取得支出	3,222,000	3,221,210	790
什器備品取得支出	1,351,000	1,350,000	1,000
投資活動支出計	4,573,000	4,571,210	1,790
投資活動収支差額	△3,223,000	△3,221,210	1,790
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計			
2. 財務活動支出			
財務活動支出計			
財務活動収支差額			
Ⅳ 予備費支出			
当期収支差額		△635,549	△635,549
前期繰越収支差額		24,434,498	24,434,498
次期繰越収支差額		23,798,949	23,798,949

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、立替金、未払金、未払消費税等、前受金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	12,439,906	11,197,756
未 収 金	17,406,927	18,756,465
前 払 金	70,000	158,845
立 替 金	0	0
合 計	29,916,833	30,113,066
未 払 金	4,325,803	4,588,664
未 払 消 費 税 等	429,600	645,500
前 受 金		224,000
預 り 金	726,932	855,953
合 計	5,482,335	6,314,117
次期繰越収支差額	24,434,498	23,798,949

4 監 査 報 告

監 査 報 告 書

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

理事長 阿 部 幸 弘 様

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和 / 年 5 月 22 日

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

監 事 石 公 下 克 則



監 事 日 浅 尚 子



資 料 編

1 理事・監事・顧問・参与・評議員名簿

(平成31年3月31日現在)

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	阿 部 幸 弘	こころのリカバリー総合支援センター所長
副理事長	池 田 輝 明	北海道精神病院協会会長 桑園病院院長
常務理事	中 川 悟	北海道精神保健推進協会事務局長
理 事	生 駒 一 憲	北海道大学病院リハビリテーション科教授
理 事	石 川 博 基	北海道精神神経科診療所協会会長 いしかわ心療・神経クリニック院長
理 事	小 出 英 子	NPO法人オーク会副理事長
理 事	竹 内 徳 男	北海道保健福祉部技監
理 事	中 村 未太郎	北海道精神障害者家族連合会会長
理 事	松 原 良 次	札幌精神科医会会長 札幌花園病院院長
理 事	山 本 真 司	札幌市保健福祉局 障がい保健福祉部長
監 事	松 下 克 則	北洋銀行常勤監査役
監 事	日 浅 尚 子	北海道新聞社常勤監査役
顧 問	伊 東 嘉 弘	元北海道精神保健推進協会理事長
参 与	岡 崎 大 介	北海道精神保健福祉センター所長
評 議 員	石 山 貴 博	NPO法人精神障害者回復者クラブすみれ会副理事長
評 議 員	大 澤 恵留美	北海道大学病院リハビリテーション部技師長
評 議 員	鎌 田 隼 輔	札幌市保健福祉局精神保健福祉センター所長
評 議 員	小 山 司	大谷地病院 臨床研究センター長
評 議 員	菅 原 悦 子	NPO法人札幌市精神障害者家族連合会会長
評 議 員	善養寺 圭 子	北海道家庭生活総合カウンセリングセンター理事長
評 議 員	田 熊 昭 紀	こころのリカバリー総合支援センター「リラの会」代表
評 議 員	舘 岡 芳 実	NPO法人オーク会ばる指導員
評 議 員	田 中 美奈子	こころのリカバリー総合支援センター医療参事
評 議 員	土 肥 一 一	こころのリカバリー総合支援センターOB会会長
評 議 員	西 村 正 樹	認定NPO法人DP I (障害者インターナショナル) 日本会議 副議長

2 財団法人設立から、今日までの経過等

昭和62年 7月 7日	財団法人設立準備委員会発足 (第1回会議)
〃 8月10日	財団法人北海道精神保健推進協会 (仮称) 設立準備委員会 (第2回会議)
〃 8月11日	財団法人北海道精神保健推進協会 (仮称) 設立発起人会 (設立総会)

昭和62年	8月20日	民法第34条の規定に基づく財団法人北海道精神保健推進協会設立許可申請
〃	9月1日	同上許可（北海道知事）
〃	9月1日	財団法人北海道精神保健推進協会事務局設置
〃	9月10日	法人登記
平成元年	2月16日	「札幌デイ・ケアセンター」開設
〃21年	4月1日	「こころのリカバリー総合支援センター」に改称
〃24年	4月1日	財団法人から公益財団法人へ移行
〃26年	6月16日	就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」開設
〃28年	6月16日	就労移行支援事業所「ここスタ」開設
〃28年	6月16日	相談支援事業所「ココクル」開設
〃30年	4月1日	就労定着支援事業所開設（こころカ・プロダクション内）

3 施設の概要

（1）「こころのリカバリー総合支援センター」

所在地 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号

建物構造 鉄筋コンクリート1部2階建

面積	敷地面積	4,819.66 m ²
	建築延面積	1,793.7 m ²
	・管理訓練棟	1,315.5 m ²
	（うち90.7 m ² を「ここスタ」「ココクル」で使用）	
	・体育館	463.20 m ²
	・附属建物	15.00 m ²
付属設備	テニスコート	1面

（2）「こころカ・プロダクション」

所在地 札幌市白石区平和通15丁目北13番18号

建物 民間住宅借上 木造3LDK 90.26 m²

4 基本財産

基本財産の総額は5,000万円で、すべて関係団体の寄附金及び北海道、札幌市からの出捐金であり、その内訳は次表のとおりである。

（単位：円）

機 関、団 体 名	金 額
北海道精神病院協会	10,000,000
北海道精神障害者家族連合会	10,000,000
札幌市婦人福祉推進協会	10,000,000
北海道	10,000,000
札幌市	10,000,000
計	50,000,000